

2026年度入学試験問題 一般入試 問題用紙

次の課題文を読み、問題の答えを別紙の解答用紙に記入しなさい。

群馬県にある伊香保温泉での話である。1990年代のことだ。一軒の旅館で、大浴場にいた宿泊客が①怒声をあげ、苦情を②訴えていた。障害者の客が浴場を汚したからだだった。すみません、すみません。女将だった松本和子さんは何度も頭を下げ、謝った。

それでも客の怒りは収まらなかった。ついには障害者の宿泊が悪いかなということも口にした。【B】女将はたまりかねて言った。「お客さんが別の旅館に行ってもらえませんか。この人たちは、うちにしか来られないんですよ」。

【A】当時、車イス用の設備を③整え、障害者を積極的に受け入れていた宿は少なかった。そばにいた娘の由起さんは思った。(1)らんぼうな言い方だけど、母親は間違っていない。「あっぱれ。うちは【C】そういう旅館なんだ」。

それから20年以上が過ぎ、旅館の女将はいま、由起さんが継いでいる。彼女が目指すのは、徹底して「旅行弱者」に寄り添う旅館だ。障害者や幼児を連れた家族客が、安心して過ごせる宿を(2)りそうとする。そのバリアフリーなどの(3)こころみが地元で(4)ちゅうもくされている。

先代女将の和子さんに尋ねてみた。なぜ、あのとき、あんなことを言ったのですか。和子さんは言いよんでいたが、やがてポツリと言った。中学のとき、小児まひの仲良しの友だちがいたこと。その子が(5)かなしい思いをしていたこと。

「でもね、そういう世の中じゃいけないと思ったんですよ」。和子さんは
(4) 穉やかに語った。窓の外では、上州の連山が(5) 悠々たる姿を見せて
いた。

※出典「朝日新聞／天声人語」女将の思い 2023 年 12 月 9 日（抜粋） 年令等を省略

問一 課題文中の傍線部（１）～（５）の平仮名を、適切な漢字に直しなさい。

問二 課題文中の傍線部（①）～（⑤）の漢字のふりがなを書きなさい。

問三 空欄部【Ａ】に入る最も適切な言葉を、次の中から選んで書きなさい。

- ・ かし ・ やはり ・ たしかに
- ・ なるほど ・ それでも ・ なぜなら

問四 傍線部【Ｂ】で、なぜ女将はたまりかねて言ったのでしょうか。最も適切な記述を次の中から選び、その記号を書きなさい。

- （ア） 宿泊客が怒声をあげ、苦情を訴えたから。
- （イ） 障害者の客が浴場を汚したから。
- （ウ） 何度も頭を下げ、謝ったのに客の怒りは収まらなかったから。
- （エ） 障害者の宿泊が悪いかのようなことも口にしたから。

問五 傍線部【Ｃ】で、「そういう旅館」とは、どのような旅館のことでしょうか。最も適切な記述を次の中から選び、その記号を書きなさい。

- （ア） 車イス用の設備を整え、障害者を積極的に受け入れている宿。
- （イ） 徹底して「旅行弱者」に寄り添う旅館。
- （ウ） 障害者や幼児を連れた家族客が、安心して過ごせる宿。

問六 課題文を読んで、あなたはどのように感じ、考えましたか。二一〇文字以内で解答欄に書きなさい。